

# みらい



**リンドウ**  
 (竜胆: リンドウ科リンドウ属)  
 花の開花時期は秋(8~11月)。野山に自生する多年植物。学名「Gentiana」。およそ400種類の品種、日本では18種類程があり、漢方では干した根が生薬に(苦味健胃剤)。花が咲かない品種もある。花言葉は「勝利」「正義感」など。※諸説あります。

## No.9

主な内容

令和元年  
6月議会 要旨報告

討議資料

発行責任者/渡部 英治 ■ 編集責任者/東海林 洋



## 『令和』の幕開け —— 県政課題へ果敢にチャレンジ!

秋田県議会 産業観光委員  
会派みらい 代表

### 渡部 英治

30年余り続いた「平成」が終わり、「令和」が幕を開けました。皆様におかれましては、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

新時代の到来は、「人口減少・少子高齢化」が急速に進む本県にとって、いかにして課題を克服していくかという大きな起点にしなければなりません。今こそ、本県の地域力を引き出し、若者が定着できる活性化に全力を傾注すべきであります。

さて、県議会第2会派「みらい」は、4月の県議選での全員再選と、新たに鳥井修議員を迎え、8名の「闘う政策集団」として、是々非々の基本スタンスで県政課題に果敢にチャレンジする覚悟であります。

皆様には、引き続き、ご指導ご鞭撻を賜りますようお願いいたします。



渡部 英治

予算特別委員会副委員長として議事進行  
(6月議会 総括審査)

「みらい」の8人は、どの政党にも所属しない無所属の議員で構成されております



鳥井 修 (秋田市) 佐藤 正一郎 (湯沢市・雄勝郡) 三浦 英一 (由利本荘市) 渡部 英治 (大仙市・仙北郡) 土谷 勝悦 (横手市) 東海林 洋 (湯沢市・雄勝郡) 三浦 茂人 (秋田市) 吉方 清彦 (能代市・山本郡)

# 6月議会

令和元年・第2回定例会  
6月4日～6月27日

今回の補正予算は、秋田の未来につながるふるさと定着回帰戦略に係る事業など「第3期ふるさと秋田元気創造プラン」に基づく事業のほか、公共事業等について計上しました。

## 6月補正予算の主な内容

令和元年度 一般会計 補正予算 **102億 2,599万円**  
補正後の規模 **5,843億 1,499万円**

### 新 副食費助成事業 …… 8,336万円

幼児教育無償化に伴う給食費の国制度見直しを踏まえ、子育てに係る経済的負担の軽減を図るため、すこやか子育て支援制度における保育料助成に加えて新たに幼児の副食費に対し助成する。

### 新 先導的「市町村間連携」促進事業 … 2,499万円

人口減少社会においても必要な住民サービスの提供を確保するため、市町村間連携の促進に向けた調査研究等を実施する。

### 新 産学官共同電動化システム研究開発事業 …… 1億3,138万円

県内製造業の高度化・競争力強化を図るため、電動化技術に係る研究開発・人材育成の拠点創生の取組を支援する。

### 新 秋田県森林環境譲与税基金積立金 …… 9,000万円

県に配分される森林環境譲与税を、林業の担い手確保や森林整備を行う市町村支援等の財源として、基金に積み立てる。

### 新 小規模事業者ICT活用促進事業 …… 2,606万円

小規模事業者の生産性向上を図るため、商工団体等が伴走型で支援するICTの導入に対して助成する。

### ● ICTを活用した訪日外国人受入態勢整備事業 …… 3,521万円

インバウンド誘客を促進するため、多言語観光サイトをリニューアルし、情報発信の強化を図る。

### ● 受動喫煙防止事業 …… 1,093万円

たばこを原因とする生活習慣病を予防するため、受動喫煙のない環境づくりに向けた施策等を実施する。

### ● 次代につなぐ再造林促進対策事業 …… 600万円

再造林を促進するため、低コスト化を図りながら再造林を実施する林業経営体に対し助成する。

### 新 旧優生保護法一時金支給事業 …… 620万円

旧優生保護法に基づき優生手術等を受けた県民に対し、一時金を支給するための、請求受付事務を行う。

### 新 秋田県文化財保存活用大綱策定事業 …… 105万円

文化財の保存・活用に関する総合的な施策の大綱を策定する。

## 6月議会 一般質問

### 佐藤 正一郎 [湯沢市・雄勝郡]

- ◆ イージス・アショアの配備について
- ◆ 知事の政治姿勢について
- ◆ 主要農作物種子条例の制定について
- ◆ 高等学校の整備と在り方について



### 吉方 清彦 [能代市・山本郡]

- ◆ ギバサの養殖とブランド化について
- ◆ 再生可能エネルギーの今後について
- ◆ 再犯防止について
- ◆ 消費税増税への対応について



## 6月議会 総括審査

### 佐藤 正一郎 [湯沢市・雄勝郡]

- ◆ イージス・アショアの配備について
- ◆ 主要農作物種子条例の制定について

### 三浦 茂人 [秋田市]

- ◆ イージス・アショアについて
- ◆ 新スタジアム整備について

私たち 会派「みらい」は、  
全員一致でイージス・アショアの  
新屋演習場への配備計画は  
撤回すべきと考えています！



【意見書案 第3号】

「イージス・アショアの  
陸上自衛隊新屋演習場への配備計画撤回を  
求める意見書」に対する賛成討論（要旨抜粋）  
——— 令和元年6月議会（6月27日）

- 「なぜ、住宅地に近い場所に配備するのか？」という地元住民の方々の不安や疑問に対して、安全性の明確な根拠が示されていないため、地元の理解が得られていない。
- 5月に行われた防衛省による説明会で示された安全対策は、事故や破壊攻撃等に対する住民の安全を軽視したもので、十分というには程遠い。また、調査資料のミスも多く、はじめから「新屋ありき」で進められていることは明白である。
- ルーマニアやポーランドの先行事例も含めて、軍事的なことに民間人を巻きこまないことは世界中の共通認識であり、防衛施設を設置するならば、住宅地から離れた広い場所を確保することは当然に必要である。

● 国において、どうしてもイージス・アショアを配備するというのであれば、適地ではない新屋演習場への配備計画を撤回し、住民の安全対策等を重要な基準として、新たな計画を慎重に検討すべきである。（東海林 洋）



## 県外調査

〈北海道／令和元年 7月10日～12日〉

### 下川町役場・しもかわ観光協会

〔上川郡下川町／7月11日〕



- 森林資源を活用した持続可能な地域づくりについて
- 木質原料製造施設一の橋地区バイオレッジ



下川町役場にて谷一之町長と



切削チップパー機



木質バイオマスボイラー

### あつま いぶり 厚真町 北海道胆振東部地震復興支援室 被災地現地視察

〔勇払郡厚真町／7月12日〕

- 北海道胆振東部地震からの復旧・復興の状況について



依然、現地には被害の跡が残る



## 秋田県議会 会派 みらい 所属議員

氏名／選挙区／当選回数／所属常任委員会／会派役職など



土谷 勝悦  
つちや しやうえつ

横手市／6期目／  
農林水産委員／みらい顧問



三浦 英一  
みづら えいち

由利本荘市／5期目／建設委員、  
議会運営委員会 副委員長／みらい幹事長



渡部 英治  
わたなべ えいじ

大仙市・仙北郡／4期目／  
産業観光委員／みらい代表



東海林 洋  
しやうじやう

湯沢市・雄勝郡／4期目／  
総務企画委員／みらい政調会長



三浦 茂人  
みづら しげと

秋田市／3期目／  
教育公安委員、議会選出監査委員



佐藤 正一郎  
さとう しやういちろう

湯沢市・雄勝郡／3期目／  
福祉環境委員会 委員長、議会運営委員



吉方 清彦  
よしかた せいげん

能代市・山本郡／2期目／  
建設委員会 副委員長



鳥井 修  
とりい おさむ

秋田市／1期目／  
福祉環境委員／みらい総務会長

# 渡部英治の 県議会レポート

今回は「人口減少対策」の具体策として「農学部誘致の実現」への取組みについて報告いたします。

農学部誘致を  
提言する渡部県議

## 1. 農学部誘致活動の現状について

政策提言 他

農学部の誘致については、私の議員活動のライフワークとして、東京農大大学長との意見交換や同大オホーツクキャンパスの現地調査をはじめ、代表質問や一般質問など、これまで何度も政策提言を行ってきたところであります。

しかしながら佐竹知事からは「大学は若者人口の維持・増加に加え、地域の活性化や課題解決に向けて重要な役割を担っており、地方では今後、益々その存在意義が高まっていく」と認識は示しているものの、現状では、ユニット研究室を核とした産業活性化推進事業による助成制度の導入など限定的な取組みに止まっています。

また、人口減少対策として新たに設置した「未来創造部」に関しては実践部隊としての活動を提言しましたが、実践活動としては、いまいち見えません。



農業分野の連携について東京農大大学長との意見交換会（東京／平成26年2月）



東京農大オホーツクキャンパスの視察と意見交換会（北海道網走市／平成27年8月）

## 2. 郡山市の東京農工大学 研究拠点誘致について

県外調査

地域社会の発展と人材育成を図る目的で、郡山市と東京農工大学の包括連携協定に基づく廃校利用による東京農工大学の“思い出の学び舎モデル事業”を現地調査しました。使用賃借等の優遇による画期的な研究活動拠点としての効果が期待されており、今後の取組みに注目したい。



廃校利用の旧根木屋小学校視察（福島県郡山市／令和元年7月）

## 3. 農学部誘致実現への新たなチャレンジ

人口減少の大きな要因になっている「東京一極集中」に歯止めをかけるためにも、農学部誘致による若者の活用をキーワードとして、廃校舎の利活用を視野に入れた実習施設の設置等、受入体制の確立による学部誘致運動を展開するとともに、将来は研究機関や通年型農業工場、さらには食品工場の誘致など雇用の創出につながる大プロジェクトに発展するような夢のなる構想を描きながら、新たなチャレンジで積極的に取組んでまいります。



大曲農業高校 太田分校（大仙市太田町横沢）